

SAVE THE EARTH!

地球を救え!

100 QUEST

100のクエスト



将来世代が考える気候アクション

NEXT GENERATION'S ACTION



Episode 2
企画書

CONTENTS

気候YOUTH会議について

- ・開催趣旨
- ・令和6年度のプログラム
- ・令和6年度の成果
- ・参加者の声

令和7・8年度の企画について

- ・企画概要
- ・プログラムのイメージ
- ・課外活動のイメージ



気候YOUTH会議について

開催趣旨

気候変動はその影響の大半を、将来を担う若者世代が受ける、世界規模の問題です。

だからこそ、「今」若者の声に基づき気候変動の対策を加速させるとともに、「個人」の取組だけではなく「社会全体」を変えていくことがとても重要です。世界では、若者のムーブメントが地域や国を動かすきっかけとなっており、脱炭素社会の実現には欠かせない重要な存在です。

気候YOUTH会議は、若者の活動を自治体が応援することを目的に、思いのある若者同士が学び、考え、取り組んでいく「場」として開催しています。



参考 | 令和6年度のプログラム

DAY 1

アクションのタネを出し合おう

3/9 SUN

13:30 - 17:00

@東京たま未来メッセ
庁舎・会議室棟 3F 第4会議室

DAY 2

100のクエストを決めよう!

3/16 SUN

13:30 - 17:00

@東京たま未来メッセ
庁舎・会議室棟 3F 第2会議室

DATA

日野市
9名

多摩市
10名

府中市
13名

▶ 計 **32名** の
高校生・大学生



気候YOUTH会議 ダイジェスト

令和6年度の様子



交流
する



グループでまとめの作成



地元企業からの情報提供



同世代の
フロンランナーからの
アドバイス

学ぶ



グループワーク



考える



成果の発表

伝える



全体シール投票



令和6年度

気候YOUTH会議の成果

みんなの実現したい

118の クエストが 出されました！

クエスト = アクション、取組、行動



気候変動の対策として
できること・やるべきことを考えました

「クエスト」は2つに分けて考えました



ひとりクエスト

自分ひとりで
クリアできること

例

- マイボトルを持ち歩く
- 友達と気候変動について話してみる



コラボクエスト

誰かと／みんなと協力しないと
クリアできないこと

例

- 部活の仲間と学校帰りにごみ拾いしてみる
- 若者向けの環境イベントをまちで開催

参加者の声

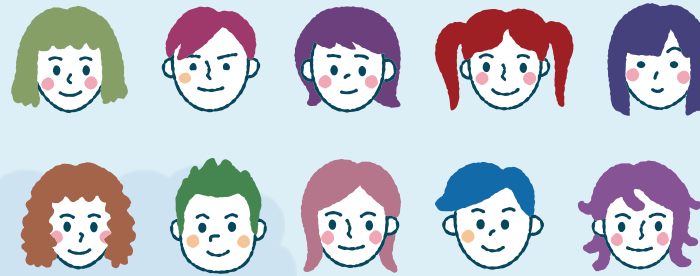
若い人の力でも、
同じ思いを持つ人が集まれば、
大きなことも変えられる可能性がある
ということを感じられた

みんな、積極的に気候変動に
ついて考えようとしていて、
想像よりも意欲の高さを感じた

活発な議論ができて
楽しかった

当事者でしか
わからないことが
発見できた

今回学んだことは、
いきなり大きな目標を立てて
実行するのではなく、
身近な課題から周りを
巻き込んでいくことの大切さ



自分自身が行動をして、
周りの意識などを変えていく
必要があると学びました

他の市の方々と話すことで、
より多くの意見が出て、
より視野が広がった

自分にはなかった視点からの
意見がたくさんあって、とても
楽しく有意義な時間だった

人それぞれ
アイデアが違い、
とても面白いと感じた

それぞれの立場からの
視点がとても興味深い
ものがありました

令和7・8年度の企画について

～若者が考えたアイデアを、自ら実践していく場へ～

会議名

気候YOUTH会議 地球を救え！100のクエスト Episode 2
～将来世代が考える気候アクション～

開催目的

- 令和6年度のクエストの成果を踏まえ、令和7年度は参加者の裾野を広げながら、令和6年度に考えたアイデアをもとにクエストをより具体化し、若者自らが活動・実行する機会を創出する。
- 活動を考え実行する過程を通じて、若者の主体性や気候変動問題に対する自己効力感を育む。
*気候危機に対して「自分で何かできる」と感じる自己効力感は、日本は他国に比べて低いという調査結果があります（イプソス社2025年4月）

対象者

高校生～24歳で、各市に在住・在勤・通学している方 50名程度
(大学生・大学院生含む)

日時・場所

*学生が参加しやすい休み期間に開催

【令和7年度】

第1回：2026年1月17日（土）13:00～16:30

@NTT e-City Labo（調布市）

第2回：2026年3月15日（日）13:30～17:00

@府中市市民活動センター プラッツ

第3回：2026年3月22日（日）13:30～17:00

@PlanT 日野市多摩平の森産業連携センター

【令和8年度】（予定）

<全体で集う会議3回>

第4回：2026年6月 中間共有

第5回：2026年10月 発表の準備

第6回：2026年12月 報告・発表

+ グループごとの活動

主催自治体 府中市、日野市、調布市、稲城市

(運営・委託先：(株)石塚計画デザイン事務所)

プログラムのイメージ

令和7年度

2026年冬
1月17日

①
オリエンテーション
R6年度の成果
・チーム
ビルディング
+
現場見学
NTT
e-City Labo

2026年春
3月15・22日

②
クエストを深める
(課外活動を計画する)

③

令和8年度（予定）

2026年
4月～9月末

チームごとに課外活動
(クエストの実施)

相談日 伴走支援 相談日 相談日

全体会

④
中間共有

6月頃

⑤
発表の準備

10月～
発表の準備

12月初旬

⑥
報告・発表

活動の共有
・
振り返り
・
今後について

第1回：オリエンテーション

目的

- 気候変動の基礎知識を知ろう
- 参加メンバーのお互いを知ろう
- 気候変動対策につながる新しい技術などに肌で体験しよう

内容

| 凡例 | ● **学びの時間** ● **交流の時間** ● **体験**

- (仮称) 「海の中の気候危機」
～ニュースも教科書も教えてくれない「気候変動」のリアルを知ろう～
講師：ダイビングガイド・自然保護活動家 **長谷川潤 氏**
- グループワーク：お互いを知ろう！(仮称)
- フィールドワーク：技術やアイデアの「掛け算」に触れてみよう



第2回：クエストの企画を掘り下げよう

目的

- テーマをもとに活動のアイデアを出し合おう
- グループで企画の方向性を決めよう

内容（予定） | 凡例 | ● 学びの時間 ● 交流の時間

- アイデアの力で社会を変える方法を学ぼう
講師：グリーンバード高円寺チームリーダー 谷村 一成氏
- テーマ（活動の方向性）を決めよう
- 関心はあるけど一歩踏み出せない人ってどんな人？
動かしたいペルソナを具体化しよう
- 活動のアイデア出し：掛け算でアイデアをたくさん出し
合ってブレインストーミングしよう
- 企画の方向性を決めよう



第3回：クエストの計画を立てよう

目的

- テーマをもとにアクションのアイデアを考えよう
- グループで企画の方向性を決めよう

内容（予定） | 凡例 | ●学びの時間 ● 交流の時間

- 企画の計画づくりのポイントを学ぼう
講師：石塚計画デザイン事務所
- 活動の具体的な計画を立てよう
| いつ、どこで、何をするかを考えよう
| はじめの一步を決めよう



課外活動（クエストの実践）のイメージ

調べる・知る

取材や情報発信（企業・活動団体・市長／議員の取材、各政党の環境政策の比較など）

体験する

既存の活動への参加（清掃活動、環境イベントでの情報収集など）

動かす

他者の行動を促すための活動（啓発動画／リールの作成、文化祭でのPRや企画実施など）

*活動の企画～実践については、主催自治体や委託先（市民活動やまちづくりの支援を専門とするコンサルタント）が、若者主体で実現できるよう、後押しします。



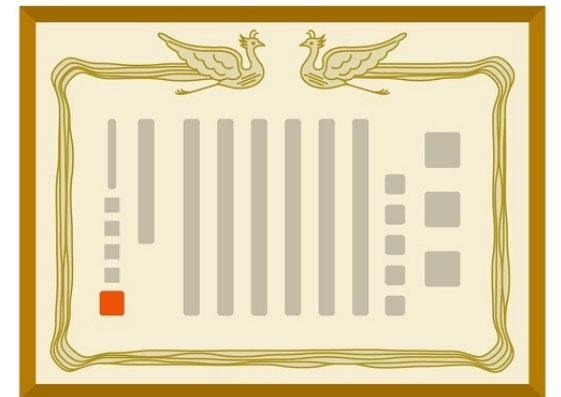
「修了証」がもらえるよ

活動にご参加いただいた証明として、
最終回の終了時*に「修了証」を授与
します。

大学受験や就職などのアピールポイント
としても活用いただけます。



*ご相談の上、プログラムの途中段階で参加の証明を
発行することも可能です。



参加のメリット

- 学校以外の仲間ができる！
- 若者主体で自由に考え、実行できる！
- 普段、聞けない話を聞ける！（講義等にて）
- 普段、行けないような場所に行ける！
- 大人に対して成果を発表し、提案・発信できる！

